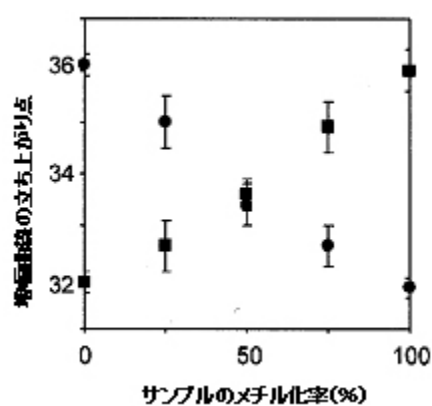


3. メチル化の定量において同時に存在する他のメチル化領域には影響されない



2ヶ所のメチル化部位(C1、C2)をもつ配列を含む仮想的DNA2種類 (C1:メチル化・C2非メチル化とC1:非メチル化C2:メチル化)を一定の割合で混合し、反応させた。横軸は混合系でのC1のメチル化率。■はC1に対するプローブ、●はC2に対するプローブを用いた測定結果。異なる2ヶ所のシトシンのメチル化の割合を変えても、標的のシトシンのメチル化定量には影響されない。

実験例参考文献: Tanaka, K. et al.: J. Am. Chem. Soc., 129: 14511-14517, 2007